



一般社団法人

東京都個人タクシー協会 会報

乗って安心個人タクシー

第64回 理事会の焦点

気を引き締めて、感染予防対策の徹底を

開催日時 9月18日(金) 午後1時

場所 日個連会館

決議事項 ①第28回個人タクシー利用者懇談会書面開催の件

者懇談会書面開催の件

秋田会長から現在の業界を取り巻く情勢について「新型コロナウイルスは、東京では170人以上の新規感染者が出るなど、終息の兆しが見えない状況です。このような中、新型コロナウイルス感染予防対策として、国交省から出されたタクシー利用者に向けたお願い事項について、タクシーに掲示できるよう、全個協にてステッカーを作成しています(※詳細は下段記事参照)。出来上がり次第、事業者の皆さんに活用いただけるよう、配りたいと思います」と話がありました。

接客マナーコンテスト開催中止

来年7月にマスター事業者コンテスト第5回全国大会の開催が予定されていましたが、全個協より、国内で新型コロナウイルスの感染が拡大している状況下、感染防止を第一として中止との連絡がありました。これに伴い、12



「継続して感染予防を」と呼びかける、秋田会長

月に予定していた接客マナーコンテスト準本選会も中止となりました。

利用者懇談会を書面開催へ

11月5日に開催予定の個人タクシー利用者懇談会についても、現在の感染者数が依然として増加・高止まりをしており、11月以降も予断を許さない状況が見込まれることから書面開催となりました。今回は出席予定のアドバイザーの方々も2年目ということもあり、昨年のご意見・ご提言に対する対応資料や個人タクシー乗車券等を送付し、ご乗車いただいた上でご意見・ご要望を書面でご返送いただく、という形で進めることとなります。

その後の審議にて、決議事項は原案通り可決承認されました。

タクシーを安心してご利用いただくために

「マスク着用」のステッカー作成

今般の新型コロナウイルス感染症が拡大する中において、「個人タクシー事業者における新型コロナウイルス感染症予防対策ガイドライン」に基づき、感染リスクを低減し、安心して個人タクシーをご利用いただけるよう取り組みをすすめています。

国土交通省からも「利用者の皆様にお願

い」として、次の3点が呼びかけられております。マスクを着用し、会話は控えめにしてください。後部座席に着席が可能である場合、できる限り助手席のご利用は控えていただく。

換気のため走行中の窓開けにご理解・ご協力をいただく。

全国個人タクシー協会においては、ご乗車中のマスク着用等をお願いするステッカーを作成中で10月中を目途に配付予定です。

ご乗車中は

マスク着用
Please wear a mask



ご理解・ご協力をお願いします

都内個人タクシー現況(令和2年9月1日現在)

許可事業者数 11,523名(前月比 -45名)

(特別区、武三11,126名 北多摩150名 南多摩247名)

傘下事業者数 11,199名(前月比 -39名)

(特別区、武三10,806名 北多摩147名 南多摩246名)

※集計方法は運輸行政と異なります。

STOP! 交通事故 ～「どうぞ」が溢れるステキな街に～

TOKYO SAFETY ACTION 啓発隊 委嘱式



絵画館前からパレード出発



式典に出席された皆さん

秋の全国交通安全運動週間を前に、東京都個人タクシー協会が赤坂警察署より「TOKYO SAFETY ACTION 啓発隊」として委嘱されることとなり、9月11日（金）午前11時より、明治神宮外苑にある聖徳記念絵画館にて、委嘱式が行われました。

自動車と歩行者の交通事故の多くが、歩行者の道路横断中に発生しており、このうち約3割が横断歩道上で発生しています。また、交通弱者である子供が道路において特に危険にさらされているという実態もあることから、赤坂警察署より、都内における交通事故の防止を図るとともに、ドライバーの歩行者保護意識向上を目指すための啓発隊として、個人タクシーに協力要請がありました。

赤坂警察署小林署長より「現在、都内では歩行者が横断歩道を横断中に発生する重大事故が多くなっております。一部のドライバーには、横断歩道を渡り始めよ

TOKYO SAFETY ACTION
～横断歩道～
歩行者を優先します
警視庁交通部



ステッカーは協会に所属する全ての個人タクシーが貼付することも検討されています。

とします。こうしたことから、運転のプロである東京都個人タクシー協会の皆様にご協力をいただき、啓発隊として『歩行者の安全』を他のドライバーに示していただきたいと思えます」と開会の挨拶がありました。

委嘱状伝達とステッカーの贈呈後、代表者が横断歩道では歩行者を優先するなど他のドライバーの模範として努力することを宣言し、参加した個人タクシー10台は、白バイの先導により明治神宮外苑を出発、啓発隊として都内をパレードしました。

東京都個人タクシー協会 丸山光明副会長

私たちは、歩行者優先の意識を持ち、信号機のない交差点や交差点での右左折時には一旦停止するなど、安全確認の徹底が必要です。一名でも尊い命を救うため、一件でも事故を無くすため、個人タクシーは先頭に立って努力をし、公共交通としての使命を果たしたいと思っています。

運輸支局長による

自動車運送事業運転者表彰

9月14日(月)に予定されていましたが、関東運輸局東京運輸支局長による「令和2年自動車運送事業運転者表彰」表彰式は、新型コロナウイルス感染症予防が全国的に拡大している状況を踏まえ、受賞者ならびにご列席者の安全確保を最優先に考慮し、開催中止となりました。

ここに受賞者のお名前を掲載させていただき、これまでのご功績に敬意を表するとともに、今後もプロドライバーの模範として活躍されることをご祈念申し上げます。

受賞者の皆さん(敬称略)

岩立 光一	(東個協・葛飾第一)
若狭 貴之	(東個協・葛飾第二)
有澤 靖夫	(東個協・葛飾第二)
五十嵐 彦弥	(東個協・葛飾第二)
伊藤 朝浩	(東個協・品川第二)
足立 邦雄	(都営協・浮間)
仲條 浩一郎	(都営協・城北)
三浦 彰佳	(都営協・新東京)
千賀 幸宏	(都営協・双和)
小川 勤	(都営協・東友)
末次 正治	(都営協・東友)
栗原 茂	(都営協・東友)

受賞者の喜びの(声)

東個協・品川第二支部 伊藤朝浩さん

日頃から、法令順守に徹し、基本を忘れない運転を心掛け、さらに危険を予測する運転を心掛けています。

そして、「安心・安全」は大前提でしかなく、今の時代に求められているのは、「サービスの質」「快適な空間」だと認識し、お客様の多様なニーズに応え、満足いただけるように努めています。

この受賞を機に、今後もより一層精進して、無事故・無違反でお客様にご満足いただけるように努力していきます。



第37回

駅前放置自転車クリーンキャンペーン

東京都は、社会問題化している放置自転車問題を広く都民に訴え、行動に繋げてもらうため、「駅前放置自転車クリーンキャンペーン」を行っており、今年も10月22日(木)から10月31日(土)までの10日間、都内全域で実施されます。既にキャンペーンポスター及びチラシ等が掲出されていると思いますが、ご協力よろしく願います。

放置ゼロ
 自転車 キレイな街でおもてなし
 No illegally parked bicycles To show hospitality in the clean city

第37回 駅前放置自転車クリーンキャンペーン
 2020年10月22日(木)～10月31日(土)
 37th campaign to clean up illegally parked bicycles around the station

東京都、区市町村、駅前放置自転車クリーンキャンペーン推進委員会、警視庁、東京都交通局、JF東日本(一社)日本旅客鉄道協会(関東鉄道協会)、(一社)東京バス協会、首都圏放置自転車対策協議会

行政処分状況

令和2年8月分

処分日	氏名	処分内容(車両停止)	違反事項	違反概要	点数
8月18日	依田 光信	文書警告及び安全確保命令	運輸規則第25条第3項	乗務記録の記録事項の不備	0点
8月18日	川名 浩徳	文書警告及び安全確保命令	運輸規則第25条第3項	乗務記録の記録事項の不備	0点
8月19日	秀野 勝行	文書警告及び安全確保命令	運輸規則第25条第3項	乗務記録の記録事項の不備	0点

不適正営業集計表(街頭営業適正化指導規程)

※令和2年7月は不適正営業の事案がありませんでした。

個タク制度の危機

真面目な事業者 迷惑千万

なぜ法を守れない

本当にいいのか! このままで!!

NO! 飲酒運転

NO! ひき逃げ

一般社団法人 東京都個人タクシー協会

計報

*8月

氏名 所属団体

享年 病名

加藤 真之 (東個協・江戸川第二)

68 心不全

才田 雅昭 (東個協・品川第三)

76 間質性肺炎

張 正一 (東個協・新宿)

52 膵臓癌

近藤 健二 (都営協・葛飾)

63 肝細胞癌

ご冥福をお祈り申し上げます

「個人タクシー利用者感謝キャンペーン」の実施について

12月3日の「個人タクシーの日」を期して、利用者の皆様に日頃のご愛顧への感謝の気持ちを伝えるとともに、マスターズ制度の取り組みを中心とするサービス向上キャンペーンを毎年12月に行っております。今年は12月1日（火）から21日（月）に実施します。マスターズ制度参加事業者の皆様には、応募はがきのチラシを20枚お渡しします。

お客様が降車の際には、「個人タクシーのキャンペーン中です。この領収書をはがきに貼ってご応募ください。JTB旅行券が当たります」と一言添えてください。

「乗って安心個人タクシー」として、業界が今こそ一丸となって個人タクシーを社会にアピールする大きな機会です。

皆様のご協力をお願いいたします。

■当選賞品

- マスター賞 JTB旅行券 10万円相当 15名
- ふたつ星賞 地域の特産品（産地直送）1万円相当 20名
- 5千円相当 30名
- 3千円相当 50名
- ひとつ星賞 クオカード5000円 6000円
- ひとつ星賞 クオカード5000円 3000円
- ふたつ星賞 クオカード1000円 1000名
- ひとつ星賞 クオカード5000円 3000名

■事業者への副賞

当選されたお客様が乗車した事業者の皆様にも副賞が当たります。

●マスター賞

デイズニリゾートパスポート（ペア）15名

ふたつ星賞 クオカード1000円 1000名

ひとつ星賞 クオカード5000円 3000名

警視庁主催 高齢タクシードライバー交通安全教室開催

危険を予測し、安全運転を

秋の全国交通安全運動の実施に先立ち、9月9日（水）午後1時より、「高齢タクシードライバー交通安全教室」が開催されました。世田谷区喜多見の警視庁交通安全教育センターにて、個人タクシー事業者16名が参加し、テストコースにおける実技と座学等を通して安全運転の基本を再確認しました。

実技講習では、「人間の反応速度の限界を知る」体験として、自分の車に乗り、指示灯の点灯とともに同時にハンドルを切って車線変更を行う、と



死角をチェックし、目視の重要性を再認識

いう体験を行いました。体験後には、担当教官より「人は目で見て操作するまでに0.75秒かかると言われており、この間は何も出来ない時間でもあります。人間の能力の限界なのです。スピードが出ていると、この1秒に満たない時間でも事故が発生してしまいます。この危険性を頭の片隅に入れていただいて、見通しの悪い道や交差点では常に危険予測をしながらの運転を心がけて下さい」と危険予測の大切さについて説明がありました。また座学講習では、サンキュー事故についてディスカッションを行いました。

その後事故検証として、教場コースの交差点でバイクと車の速度を目視し、人間の縦方向の速度認識の甘さ、物体の大きさによってスピードの錯覚が起こる点を確認し、増加傾向にある右直事故を、自分たちは絶対に起こさないという意識を共有しました。

最後に交通安全対策第一係神警部より「プロのドライバーとして、真剣に向き合っていた姿を見せていただきました。今日気づかれたことが色々あると思います。ぜひ仕事に



右直事故の事故検証

参加者の声

東個協・品川第三支部
溝上猛士さん

活活して、お身体に気を付けて頑張ってください」と講評をいただくと、教室は終了しました。

日頃の運転で分かっていることや知っている知識もありますが、改めて体験したり、交差点で客観的に事故検証を行うことで、気づかされることがありました。特にいつもの車内からの視点ではなく、離れた視点で見る事も新鮮に感じました。今日の体験を生かして、これからも安全運転を心がけていきたいと思っています。